各ロータリークラブにおいて様々な職業奉仕活動をされていると思いますが本日は私の方から活動事例について紹介させて頂きます。

ロータリー活動は良くひとづくりと言われています。ここでは職業奉仕活動を通じた内なる人づくりと外なるひとづくりについて説明させていただきます。まず、内なるひとづくりは会員の更なる知識や技能を高めて頂き自己の事業を成長させてロータリー活動にも繁栄させていく活動と思います。

1. 卓話　会員間の持ち回り卓話や外部卓話として他クラブでの事業成功者および地域の市長、商工会議所会頭、警察署長、消防署長様等に卓話をして頂き会員のお役に立てる。
2. クラブフォーラム
3. 会員企業の職場見学会
4. その他

続きまして外なる人づくりについて説明させていただきます。

（１）出前授業

（２）職場体験

（３）その他

ロータリー会員にはあらゆる職業の経験者がたくさんいらっしゃいます。その経験や知識を生かして学校等で出前授業や又、職場体験学習等を通じて青少年育成をする社会奉仕活動です。

それでは高槻ＲＣの職業奉仕委員会の活動事例をお話しさせて頂きます。２０２０～２０２１年度はコロナ禍で思うような活動ができていませんので２０１９～２０２０年度について説明します。

高槻ＲＣの

定例行事として

1. 毎月第１例会日に会員企業の創業記念月のお祝いを実施
2. 年１回例会日に会員企業の優良従業員表彰を行う。

毎年会員企業を２社選定し２名の社員を表彰

職業奉仕活動に関する研修会として会員企業の職場見学会を１０月に行いました。ＪＴ株式会社医薬総合研究所が高槻市内にあります。

そこに併設されたＪＴ生命誌研究館を訪問し説明を受けました。余談ですが２０１７～２０１８年度ＩＭ２組のロータリーデーにて当時の館長さんに生命の誕生について講演を頂きました。

ＪＴグループでの位置づけは生命誌研究館は生命科学と他分野の架け橋となる学術研究機関であると同時に一般の方も楽しめる文化施設とことです。参照としてスライド見て下さい。

外部研修会を１１月にクラブ運営委員会と親睦会を兼ねて実施しました。

場所は滋賀大学経済学部付属資料館です。

ロータリーは各奉仕活動を世界中で行われていますが、日本でも近江商人が古くからロータリー精神と同様な精神で商いをされていました。その経営理念の「三方よし」を滋賀大学名誉教授の宇佐美先生から説明をうけました。

近江国の精神風土は地縁・血縁・職縁のつながりを重視され又、信仰心（神仏）と儒教道徳を大切にされたとのことです。

近江商人は近江に本家をおいて地場の商品で他国を商圏とするよそ者のため円滑に永続させるために愛顧関係を結び継続させるかを考える必要があった。それが縁故のある「世間」への社会貢献に発展したとのことです。

下の写真は史料館のパンフレットと建物です。次ページは当日の研修風景と史料館内の展示品の一部です。

高槻ＲＣでも外なる人づくりの観点から出前授業を検討し、

２０２０年３月に教育委員会に相談する予定が新型コロナウイルスの関係で断念しました。

続きまして２６６０地区内の他ＲＣで実施された出前授業の事例を紹介させて頂きます。一般的に出前授業は学校に出向いて学生を相手に授業しますが、今回は少し変わった出前授業も含めて紹介します。

まず、大阪中之島ＲＣで２０２０年９月に実施された授業です。

高齢化社会に向けシニア層対象に口腔ケア・変形性ひざ関節症・老人性難聴について事前に新聞誌上で告知され授業されています。

応募者は２２０名あったそうですがコロナ禍のため７０名に絞られたとのことです。次ページに当日の写真と新聞です。また、主催者の目的も説明されています。

職業奉仕は個々人の理念・行動にもとづいて行う活動です。

しかし　　ロータリークラブが現在抱えている問題は

会員の減少と高齢化です。

主催者の考えは

それを解決するためには新聞などのメディアを通じてロータリークラブの特徴である職業人の集まりである点を世間に知って貰い、ロータリークラブの公共イメージを向上することも大事。と言われています。

２つ目の事例として、くずはＲＣの夏祭りを活用した出前授業です。

２０１９年８月２４～２５日２日間にわたり枚方まつり会場内においてまつりに訪れた子供さんたちにからくり玩具の制作を指導されています。これも事前にチラシ等で案内され制作した玩具はパタパタ[屏風返し]です。来場者は８０名来られたそうです。

次ページは当日のチラシと授業風景と制作した玩具です。資料は動画で頂いたのですが本日はスライドでご勘弁してください。

３つ目の事例として、八尾ＲＣが金光八尾高等学校での出前授業です。

目的は通常あまり接点のない「金融」についてボードゲームや講義を通じて、理解を深めて頂きインターアクターの将来ビジョンの形成に役立てて頂くことです。

内容は（１）株取引のシミレーションゲーム「ブルサ」を生徒にプレイしていただき理解をして頂く。（２）東京証券取引所によるオンラインでの講義の受講。（３）会員による講義。

次ページのスライドがボードゲームのブルサとオンライン講義の状況です。

４つ目の事例として豊中ＲＣの出前授業の一部を紹介します。

ＲＣには様々な職業分野の方が所属されその経験と知識を生かして社会奉仕活動や人道的活動に取り組まれています。豊中ロータリークラブもそれぞれ専門の方が小学校や中学校で出前授業を実施され青少年育成に貢献されています。事例として（１）２０２０年６月に小学校で６年生３クラスを対象に「人体の構造と働きについて」授業されています。（２）は２０２０年１２月に中学生に対して内容は生活と金融の働きとして家計・企業・お金の動き・金融の知識・信用金庫と銀行の違い等について授業されています。

最後にまとめとして出前授業、職場体験学習を実践する目的について説明いたします。

出前授業はロータリアンの自らの職業を通じ、事業生活の中で青少年を育成するという奉仕の理念のもとで授業を行う。

職場体験学習はロータリアンの自らの職業現場において青少年に働くことの意義を理解させ、礼儀作法を教え、実社会での職業経験を通じて個人の将来に向けた希望を抱かせることを目的とする。

ご清聴ありがとうございました。